

知らぬ間にオンラインゲームで高額請求！

～遊ぶ前に親子でルール作りをしましょう～

国民生活センターに寄せられたオンラインゲームの高額請求の例

◇事例1

クレジットカード会社から連絡があり、28万円もの高額な請求があることがわかった。小学生の息子がオンラインゲームで有料コインを購入したらしい。思い起こせば先日、オンラインゲームの登録に700円が必要だと頼まれ、**決済のために自分(母親)のクレジットカード番号を入力した**。その後はそのクレジットカード番号で有料アイテムを次々に買ったようだ。息子は「**ゲーム内でコインを買うときに難しい操作はなく、どんどん買えた**」と言っている。



◇事例2

スマートフォンを機種変更したので、**古いスマートフォンを無線LAN接続し**、息子が無料のソーシャルゲームなどに使っていた。利用料をチェックしたら6歳の子どもが1日で約4万円もゲームで利用していたことが分かった。**息子はボタンをどんどん押しただけで有料と知らなかった、暗証番号も入力していない**と言っている。

<アドバイス>

- 1 クレジット決済のために親が入力した**クレジットカード番号が有効**になっていて、**子どもが自分で番号を入力しなくても、オンラインゲームに課金が出てしまう**ケースなどが見られます。事例2は、古いスマートフォンにクレジットカード番号の情報が残ったままだったと考えられます。クレジットカード番号の管理には十分注意しましょう。
- 2 オンラインゲームは**料金体系や決済方法が多様化**しています。周りの大人はオンラインゲームの仕組みについて理解し、**ゲームの遊び方やルールについては子どもと決めておく**ようにしましょう。



※困ったときは、お住まいの自治体の消費生活センター等に相談を（消費者ホットライン 188）

<出典> ・独立行政法人国民生活センター「子どもサポート情報 第106号」

<http://www.kokusen.go.jp/mimamori/pdf/support106.pdf>

・独立行政法人国民生活センター「増え続ける子どものオンラインゲームのトラブル」

http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20131212_1.html

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課

☎:0776-20-0745（直通） メール：kenan@pref.fukui.lg.jp